

県立高校の再編整備基本計画

平成21年10月

香川県教育委員会

目 次

趣 旨	1
1 本県高校教育の役割	2
2 平成23年度以降、おおむね10年間を見通した方針	3
(1) 学校の再編	3
(2) 学科の改編（全日制課程）	4
(3) 定時制・通信制課程	5
(4) 中高一貫教育	5
3 平成23年度以降、おおむね5年間の具体的な取組み	6
(1) 学校の再編	6
(2) 学科の改編（全日制課程）	6
4 再編整備の進め方	7
《 資 料 》	

趣 旨

県教育委員会では、これまで、「県立高校の再編整備基本計画（平成13年度～平成17年度）」及び「県立高校の再編整備基本計画（平成17年度～平成22年度）」に基づき、長期的な生徒減少期が継続する中であっても、生徒の能力・適性・進路希望などに対応して高校教育の充実を図るとともに、県立高校が活力に満ち、時代の変化や社会の要請に即した多様な教育を推進するため、県立高校の再編整備を進めてきた。

（資料1、2）

本計画は、引き続き、生徒数の継続的な減少や社会情勢の変化に的確に対応するため、平成20年9月の「県立高校の学校・学科の在り方検討会議」の報告の趣旨を踏まえ、学校の活力の維持や人材育成、社会の変化に対応した学校・学科の望ましい配置などの観点から、県立高校の再編整備について、平成23年度以降、おおむね10年間を見通した方針を示すとともに、おおむね5年間の具体的な取組みを示すものである。

1 本県高校教育の役割

○高校教育は、幅広い知識を得るとともに、集団生活の中での様々な活動を通じて互いに切磋琢磨し、多様な人間関係を築く中で社会性を養い、変化が激しい社会にあっても、個性や創造性を発揮し、自分の夢を実現するための基礎となる力をしっかりと身につけさせる役割を担っている。

○本県における高校卒業後の進路は、普通教育と職業教育をあわせ、約半数の者が大学等への進学、4人に1人が専修学校等、5人に1人が就職という状況であり、大学等への進学を目指す傾向が強まっている。また、就職者のうち、約9割は、県内で就職しており、全国の中でも、高い割合となっている。こうした進路状況を踏まえ、生徒の多様な学習ニーズに応える高校教育を展開することが必要である。

(資料3、4)

○一方、将来的な人口減少が見込まれており、地域社会・産業への影響が懸念される中で、郷土に対する誇りと愛着をはぐくみ、地域社会の形成者としての資質を養うとともに、地域づくりに積極的に参加し、地域社会・産業の牽引力となるような人材を育成することが重要である。

○本県の高校教育においては、

- ① 卒業後、即戦力として地域産業を支え、地域社会に貢献する人材
 - ② 卒業後、上級学校に進学し、さらに専門的な知識を深めたのち、郷土香川にあって地域社会・産業を支える人材
 - ③ 郷土香川に対する思いを持ち続け、県外・国外で活躍する人材
- など、直接、間接的に地域を支える多様な人材を育成していく必要がある。

2 平成23年度以降、おおむね10年間を見通した方針

本県高校教育の役割を踏まえ、普通科系学科、職業学科、総合学科の配置バランスを考慮しながら、各学校がそれぞれの地域の中で、特色ある教育活動を展開できるよう、次のような方針に沿って学校の再編や学科の改編等を進める。（資料5、6）

(1) 学校の再編

各地域で見込まれる生徒数の推移を考慮し、高校の活力の維持、地域を支える人材育成などの観点から、各地域における学校再編の方針は、以下のとおりである。

① 小豆地域

小豆島高校と土庄高校を統合し、進学にも就職にもしっかり対応できるよう、幅広い学習機会を提供することにより、生徒の学習意欲を高めるとともに、活力ある学校生活を送れるよう、地域内で十分な高校教育を受けやすい環境を提供するという基本的な考えに立って、新たな学校づくりを推進する。

② 東かがわ・さぬき地域

平成29年以降、生徒数の減少が見込まれているが、隣接する高松地域の生徒数がやや増加することも考慮して、今後10年間は、現在の学校配置のもとで、各学校がそれぞれの特色を生かしながら、教育内容の充実を図る。また、その後の生徒数減少の中にあっても、地域における学校の教育力の向上が図れるよう、新たな学校づくりについて検討を行う。

③ 高松地域

今後10年間、生徒数はやや増加することが見込まれており、現在の学校配置のもとで、各学校がそれぞれの特色を生かしながら、教育内容の充実を図る。

④ 中讃地域

今後10年間においては、生徒数はほぼ横ばいで推移することが見込まれており、現在の学校配置のもとで、各学校がそれぞれの特色を生かしながら、教育内容の充実を図る。また、その後の生徒数減少の中にあっても、地域における学校の教育力の向上が図れるよう、新たな学校づくりについて検討を行う。

⑤ 三豊・観音寺地域

観音寺中央高校と三豊工業高校を統合し、それぞれの特色を生かしながら、確かな学力をはぐくむとともに、実践的な専門教育を通して、社会人、職業人としての資質や態度を育てる教育を提供できるよう、新たな学校づくりを推進する。

平成13年度から平成22年度までの10年間、生徒数の減少や時代のニーズに適切に対応するため、様々な形で学科の改編を進めてきた。

今後10年間については、これまでにない新たな学科を設置するのではなく、既に設置されている学科の役割を確認するとともに、社会情勢の変化に対応しながら、教育の充実を図り、生徒が自らの夢の実現に向け主体的に学習できるよう、学科の改編を進める。

こうした観点から、普通科系学科、職業学科、総合学科それぞれの学科の改編の方針は、以下のとおりである。

① 普通科系学科

- それぞれの進路希望に応じて、普通科系科目を中心とした幅広い学力を身につけさせる。
- 生徒の資質・能力を十分に伸ばし、生徒の多様な学習ニーズに対応できるよう大学進学に特化したコース、就職に対応したコースや専門科目を開設するなど、教育内容の充実を図る。
- 普通科系専門学科^{※1}や普通科の特色ある類型^{※2}については、入学の段階ではなく、入学後に学科等を選択できるよう、普通科のコース制への移行や普通科とのくくり募集^{※3}などを含めて検討する。

※1 普通科系専門学科…理数科、音楽科、美術科、外国語科、文理科の学科

※2 特色ある類型……三本松高校普通科（国際コミュニケーション類型）と香川中央高校普通科（国際類型）

※3 くくり募集……関連する複数の学科をまとめて募集し、それらを一つの学科とみなして入学者を選抜する方法

② 職業学科

- 本県の地域産業を担う人材育成を図ることを基本として、高校卒業後の進路状況や地域産業の状況等を勘案しながら、学科の改編等を検討する。
- 既に設置されている職業学科については、産業界や関係機関などの意見も参考にしながら、教育内容の充実を図る。 （資料 3、4、8）

③ 総合学科

- 学習や体験活動を通して、自分の適性を見つけるとともに、将来の生き方を考え、主体的に進路を決定し、幅広い選択科目の中から生徒が選択して学習することができる総合学科の特色を生かし、教育内容の充実を図る。
- 生徒の選択状況や社会のニーズに応じて、系列の見直しを行うとともに、現在設置されていない地域においても、総合学科への改編を検討する。

(3) 定時制・通信制課程

社会情勢が変化し、生徒のニーズが多様化する中、定時制課程については、専門教育の充実を図るための専門学科の再編や、普通科における単位制・三修制の拡大、年度途中の入学の導入を進めている。

また、通信制課程については、より多くの生徒が、学校行事などに参加できるようスクーリングを工夫したり、平日の補習や補助スクーリングにより学習機会を拡充するなど、教育の充実に向けた取り組みを行っている。

○今後、これらの取組みについて、その成果や課題を検証しつつ、昼間定時制や通信制課程を併せもつ本県定時制・通信制教育の拠点となる学校について、引き続き研究を進める。
(資料 7-2)、(資料 9、10)

(4) 中高一貫教育

中高一貫教育については、6年間を通して、これからの社会において子どもたちに求められる資質を十分に伸ばす教育を行うという観点から導入した。

○これまでの本県における中高一貫教育の成果や課題を検証しつつ、時代の変化や社会の要請に即した、活力に満ち魅力ある学校となるよう、教育内容の充実・改善を図る。

3 平成23年度以降、おおむね5年間の具体的な取組み

平成23年度以降、おおむね10年間を見通した方針を踏まえ、おおむね5年間の取組みを具体的に示すと、以下のとおりである。

(1) 学校の再編

① 小豆地域

小豆島高校と土庄高校との統合に向け、統合後の校地や学科等について決定し、必要な施設設備の整備を行う。

② 三豊・観音寺地域

観音寺中央高校と三豊工業高校との統合に向け、総合学科と工業科を併せもつ新たな学校の教育内容を検討するとともに、観音寺中央高校において、必要な施設設備の整備を行う。

(2) 学科の改編（全日制課程）

① 普通科系学科

- 三本松高校の国際コミュニケーション類型、香川中央高校の国際類型については、入学後に国際関係の学習が選択できるよう、普通科のコース制へ移行する。
- 三本松高校、観音寺第一高校の理数科については、2年次から理数科を選択できるよう、普通科とのくくり募集を行う。

② 職業学科

- 多度津高校の水産科について、本県水産業の特色をより生かした教育内容への見直しや学科改編を行う。
- 石田高校、高松南高校、笠田高校の家庭科について、本県の生活関連産業の人材育成を図ることに、より力点をおいた教育内容への見直しや学科改編を行う。

③ 総合学科

- 三木高校、飯山高校、観音寺中央高校の総合学科について、系列の見直しを行う。

4 再編整備の進め方

本計画は、現行の県立高校の通学区域、公立と私立の入学定員の比率、行政区域などの制度の中で、現段階での将来の生徒数の見込みに基づき、平成23年度以降おおむね10年間を見通したものである。

この計画の実施に当たっては、平成33年度以降さらなる生徒数の減少が見込まれていることや、社会情勢の変化や制度の改正などに柔軟に対応するため、おおむね5年経過時点で計画の見直しを行う。

《 資 料 》

- 資料 1 これまでの再編整備
- 資料 2 県内高校及び高等専門学校配置図
- 資料 3 高校卒業後の進路状況
- 資料 4 高校卒業後の就職状況
- 資料 5 香川県の中学校卒業（予定）者数の推移
- 資料 6 地域別中学校卒業（予定）者数の推移
- 資料 7 公立高校学科一覧
- 資料 8 業種別・市町別の事業所数・従業者数の分布
- 資料 9 定時制・通信制課程の配置図
- 資料 10 定時制・通信制課程の生徒数等の推移

これまでの再編整備

1 学校の再編

- 平成 17 年度 大川東高校を募集停止
- 平成 19 年度 善通寺西高校のデザイン科を善通寺第一高校に統合
多度津水産高校の水産科を多度津工業高校に統合

2 学科の設置

- 平成 17 年度 坂出商業高校に情報科を設置
- 平成 22 年度 高松商業高校に情報科、高松南高校に福祉科を設置（予定）

3 学科の改編

- 平成 14 年度 高松南高校、飯山高校の衛生看護科を 5 年一貫の看護科に改編
坂出工業高校の工業科を改編
- 平成 15 年度 高松工芸高校、多度津工業高校の工業科を改編
- 平成 17 年度 石田高校、高松南高校、農業経営高校の農業科を改編
丸亀城西高校の普通科と商業科を改編
- 平成 18 年度 高松工芸高校の工業科、笠田高校の農業科の改編
- 平成 19 年度 観音寺中央高校の普通科、商業科、食物科を総合学科に改編

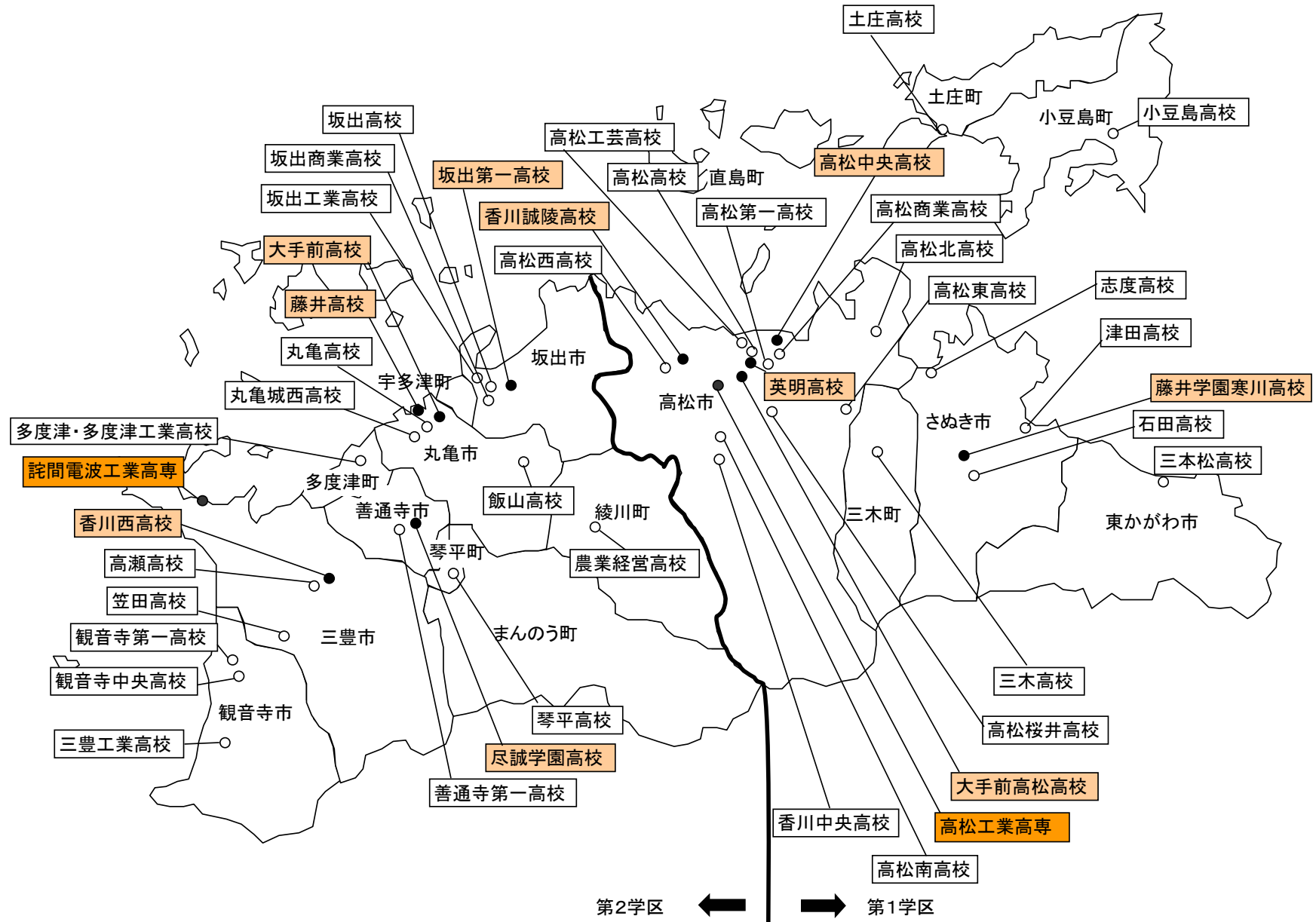
4 定時制の改編

- 平成 22 年度 志度高校の商業科、坂出工業高校の工業科を募集停止（予定）

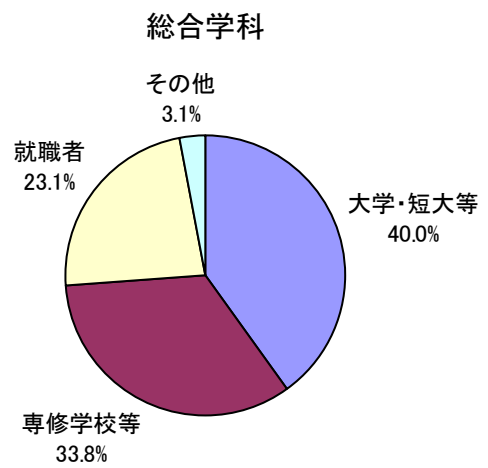
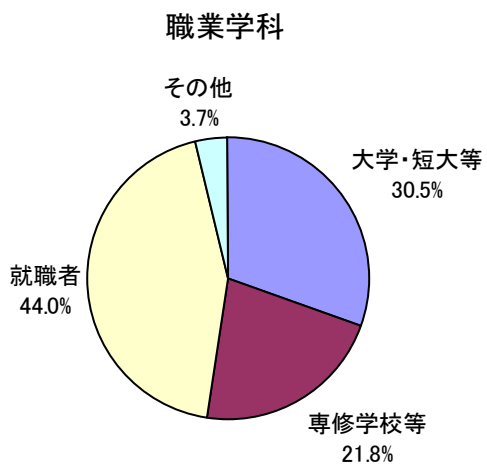
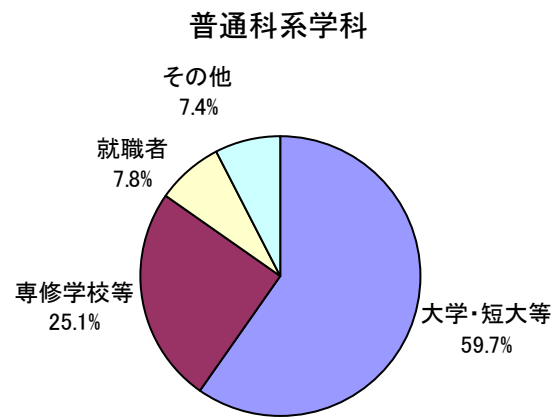
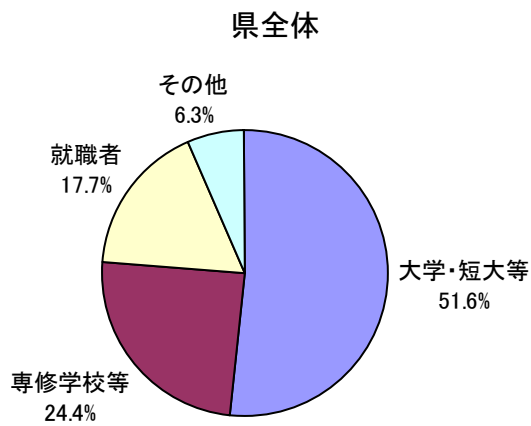
5 中高一貫教育

- 平成 13 年度 高松北高校に高松北中学校を併設
- 平成 14 年度 高瀬高校に高瀬のぞみが丘中学校を併設
- 平成 21 年度 高瀬のぞみが丘中学校を募集停止

県内高校及び高等専門学校配置図 (H21. 4 現在)



高校卒業後の進路状況 (H20. 3 卒業者、公立・私立、全日制・定時制)



資料 4

高校卒業後の就職状況（H20.3 卒業者、公立・私立、全日制・定時制）

（単位：人、％）

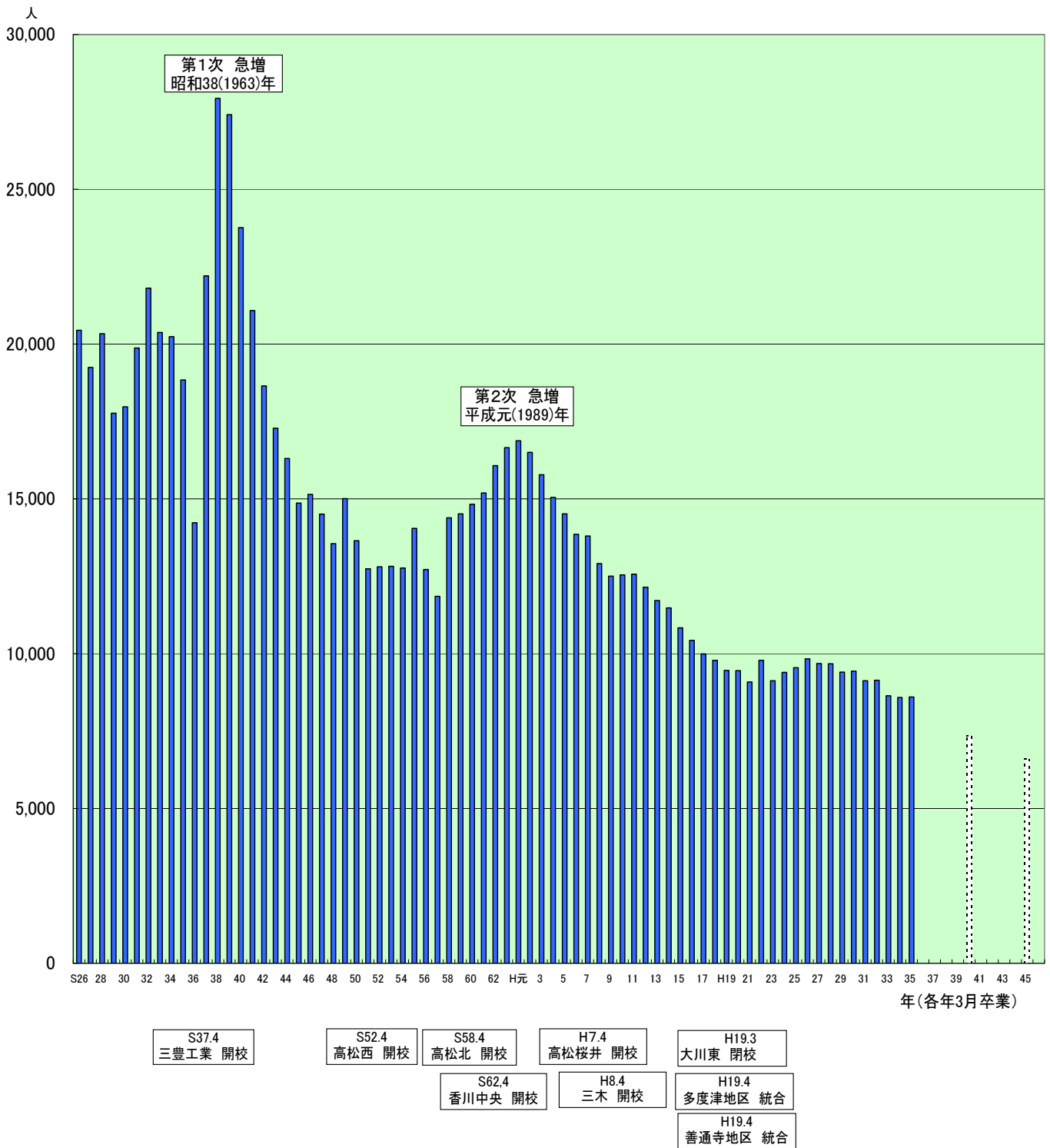
地域	卒業者数	計		第1次産業		第2次産業			第3次産業			
		就職者	左のうち 県外就職者	農業、林業	漁業	鉱業、採石業、 砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、 郵便業	卸売業、 小売業
小豆	292	39	14				3	13			4	5
		(13.4)					(7.7)	(33.3)			(10.3)	(12.8)
東かがわ ・さぬき	786	233	13	2	1		9	104	1	2	7	32
		(29.6)		(0.9)	(0.4)		(3.9)	(44.6)	(0.4)	(0.9)	(3.0)	(13.7)
高松	3,953	443	36	2			51	128	5	11	25	89
		(11.2)		(0.5)			(11.5)	(28.9)	(1.1)	(2.5)	(5.6)	(20.1)
中讃	2,672	598	59	1	3		38	299	5	4	22	67
		(22.4)		(0.2)	(0.5)		(6.4)	(50.0)	(0.8)	(0.7)	(3.7)	(11.2)
三豊・観音寺	1,089	244	32		1		7	132	12	2	8	25
		(22.4)			(0.4)		(2.9)	(54.1)	(4.9)	(0.8)	(3.3)	(10.2)
計	8,792	1,557	154	5	5		108	676	23	19	66	218
		(17.7)		(0.3)	(0.3)		(6.9)	(43.4)	(1.5)	(1.2)	(4.2)	(14.0)

地域	第3次産業									公務 (他に分類される ものを除く)	左記以外 のもの
	金融業、 保険業	不動産業、 物品賃貸業	学術研究、 専門・技術 サービス業	宿泊業、 飲料サービス業	生活関連 サービス業、 娯楽業	教育、 学習支援業	医療、福祉	複合サービス 事業	サービス業 (他に分類さ れないもの)		
小豆				5	2		1	2		4	
				(12.8)	(5.1)		(2.6)	(5.1)		(10.3)	
東かがわ ・さぬき		1	2	12	13		18	4	9	14	2
		(0.4)	(0.9)	(5.2)	(5.6)		(7.7)	(1.7)	(3.9)	(6.0)	(0.9)
高松	4	1	5	28	17	1	11	8	36	20	1
	(0.9)	(0.2)	(1.1)	(6.3)	(3.8)	(0.2)	(2.5)	(1.8)	(8.1)	(4.5)	(0.2)
中讃	2	1	6	45	15	1	35	17	13	22	2
	(0.3)	(0.2)	(1.0)	(7.5)	(2.5)	(0.2)	(5.9)	(2.8)	(2.2)	(3.7)	(0.3)
三豊・観音寺			1	21	9		5	7	5	9	
			(0.4)	(8.6)	(3.7)		(2.0)	(2.9)	(2.0)	(3.7)	
計	6	3	14	111	56	2	70	38	63	69	5
	(0.4)	(0.2)	(0.9)	(7.1)	(3.6)	(0.1)	(4.5)	(2.4)	(4.0)	(4.4)	(0.3)

※計欄の下段は、卒業者総数に占める割合。その他の欄の下段は、就職者に対する割合

平成20年度学校基本調査

香川県の中学校卒業（予定）者数の推移



昭和26～平成20年は、学校基本調査・卒業者数
 平成21年～平成29年は、平成20年度学校基本調査（平成20年5月1日現在）・中学校3年生～小学校1年生児童生徒数
 平成30年～平成35年は、各市町教委調査（平成20年4月1日現在）・5歳児～0歳児数
 平成40年、45年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）」の0～4歳データをもとに算出

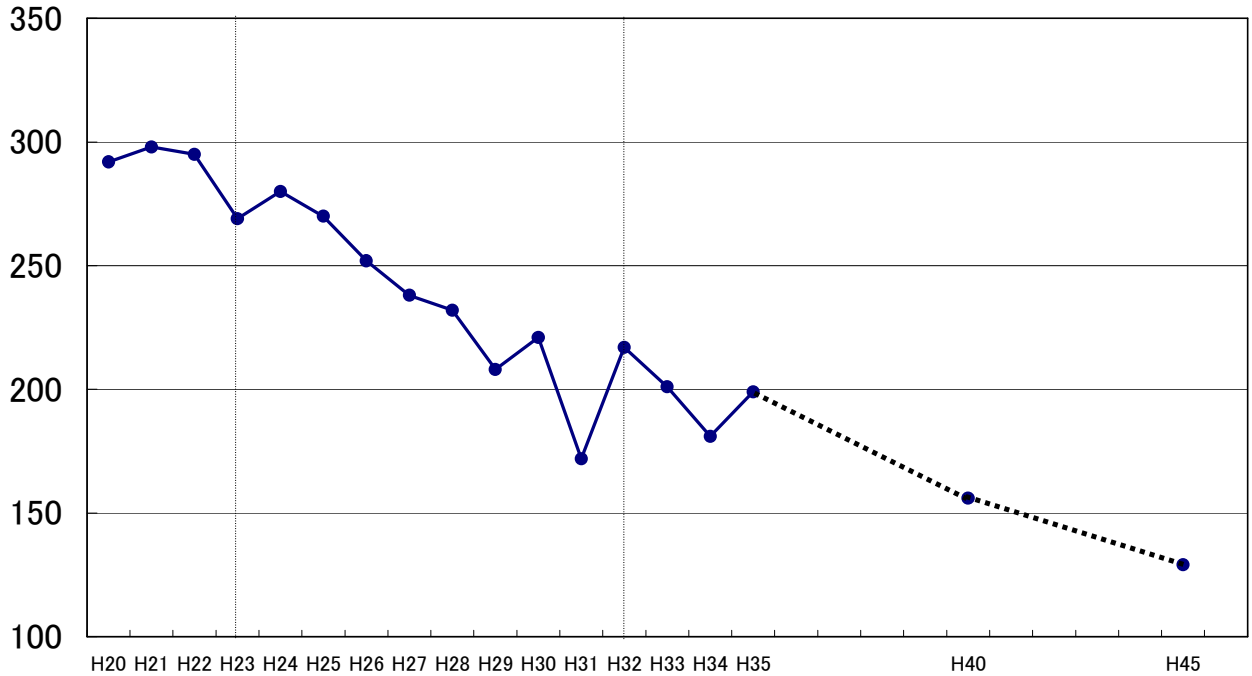
地域別中学校卒業（予定）者数の推移

資料 6

小豆地域

(単位:人、%)

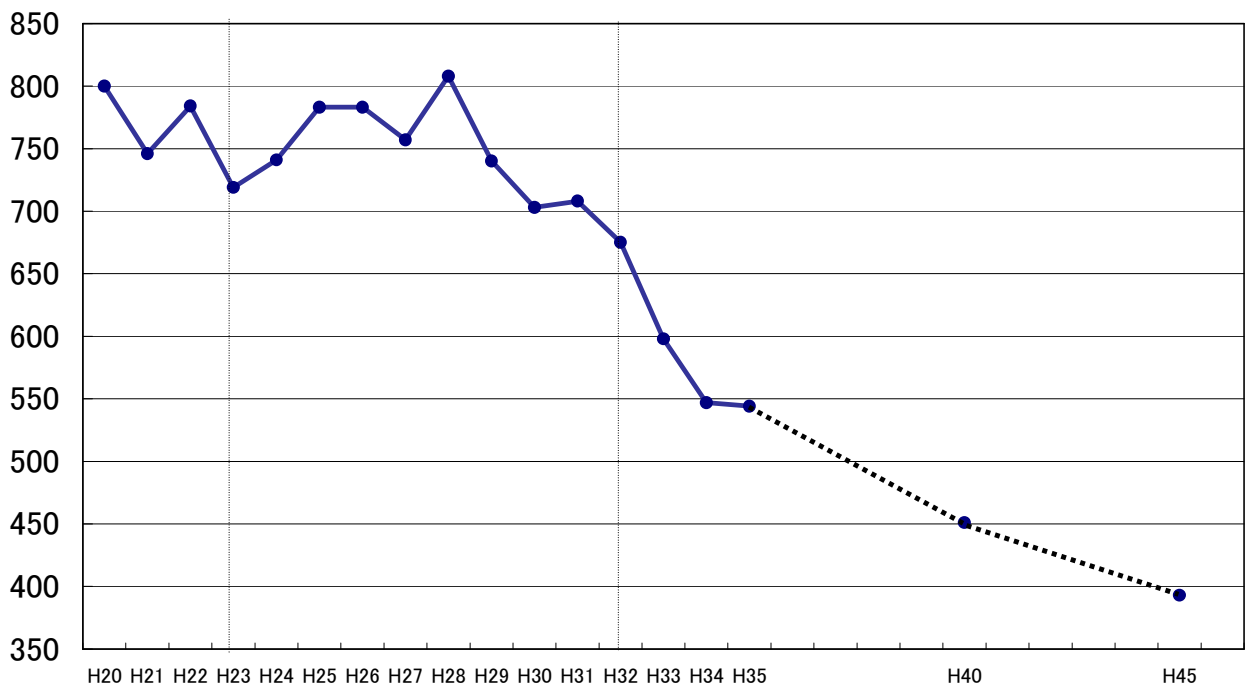
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H40	H45
卒業生数	292	298	295	269	280	270	252	238	232	208	221	172	217	201	181	199	156	129
指数	98.0	100.0	99.0	90.3	94.0	90.6	84.6	79.9	77.9	69.8	74.2	57.7	72.8	67.4	60.7	66.8	52.3	43.3



東かがわ・さぬき地域

(単位:人、%)

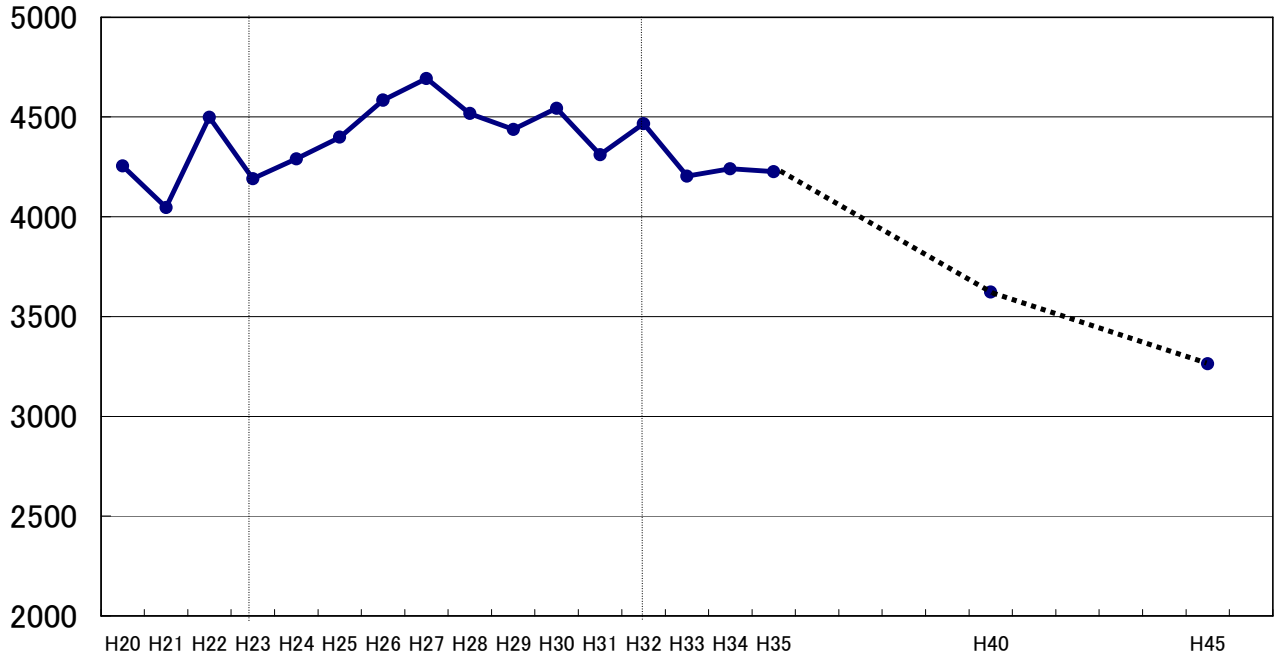
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H40	H45
卒業生数	797	746	784	719	741	783	783	757	808	740	703	708	675	598	547	544	451	393
指数	106.8	100.0	105.1	96.4	99.3	105.0	105.0	101.5	108.3	99.2	94.2	94.9	90.5	80.2	73.3	72.9	60.5	52.7



高松地域

(単位:人、%)

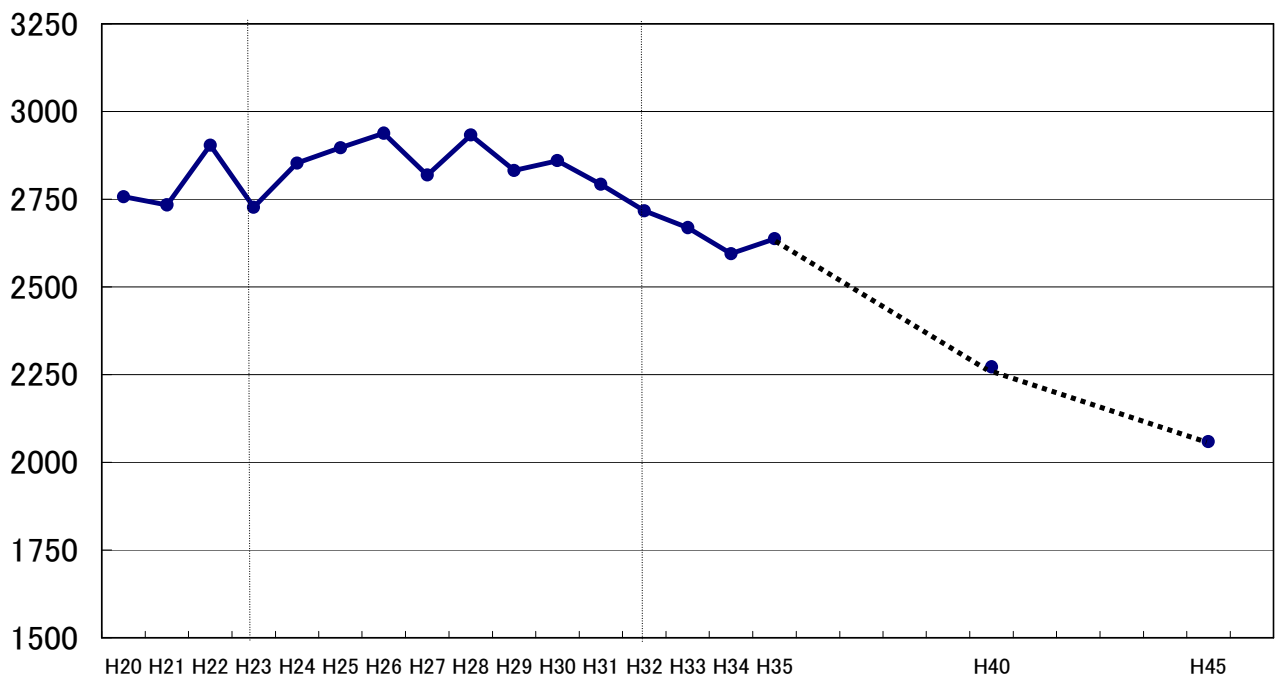
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H40	H45
卒業者数	4,240	4,046	4,499	4,191	4,291	4,399	4,584	4,693	4,517	4,438	4,544	4,311	4,467	4,204	4,241	4,226	3,624	3,263
指数	104.8	100.0	111.2	103.6	106.1	108.7	113.3	116.0	111.6	109.7	112.3	106.5	110.4	103.9	104.8	104.4	89.6	80.6



中讃地域

(単位:人、%)

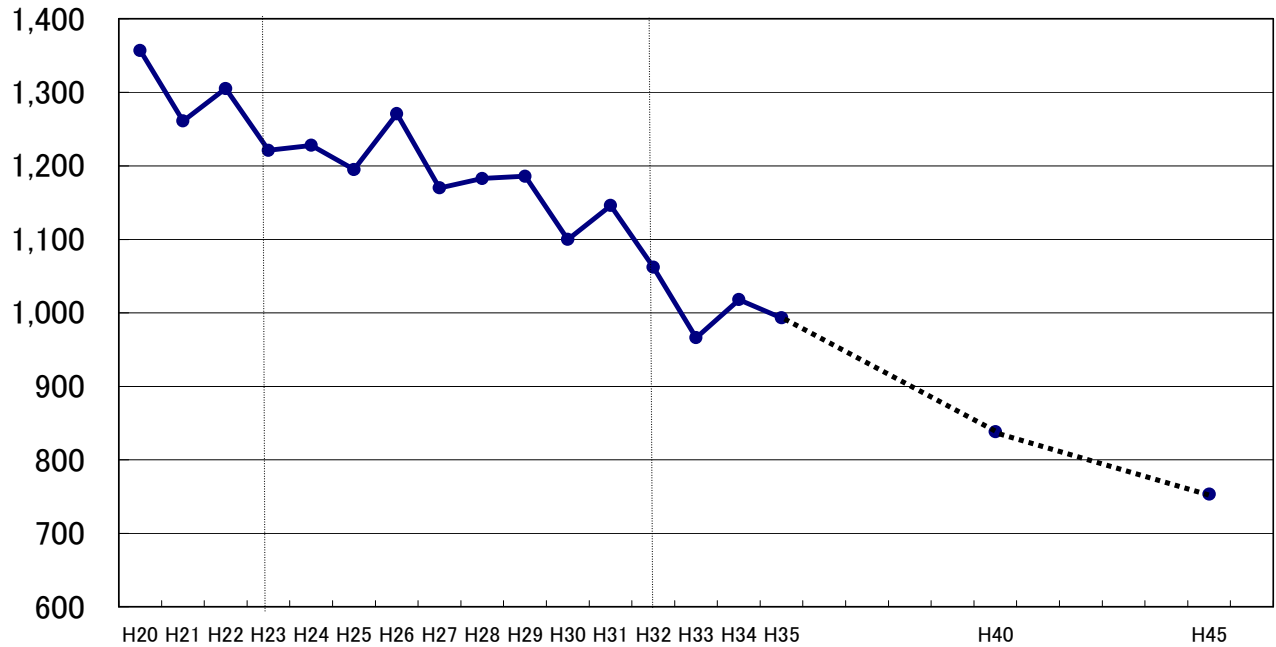
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H40	H45
卒業者数	2,763	2,734	2,904	2,727	2,853	2,897	2,938	2,819	2,933	2,832	2,860	2,792	2,717	2,669	2,595	2,637	2,273	2,059
指数	101.1	100.0	106.2	99.7	104.4	106.0	107.5	103.1	107.3	103.6	104.6	102.1	99.4	97.6	94.9	96.5	83.1	75.3



三豊・観音寺地域

(単位:人、%)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H40	H45
卒業者数	1,357	1,261	1,305	1,221	1,228	1,195	1,271	1,170	1,183	1,186	1,100	1,146	1,062	966	1,018	993	838	753
指数	107.6	100.0	103.5	96.8	97.4	94.8	100.8	92.8	93.8	94.1	87.2	90.9	84.2	76.6	80.7	78.7	66.5	59.7



平成20年は、学校基本調査・卒業者数

平成21年～平成29年は、平成20年度学校基本調査（平成20年5月1日現在）・中学校3年生～小学校1年生児童生徒数

平成30年～平成35年は、各市町教委調査（平成20年4月1日現在）・5歳児～0歳児数

平成40年、45年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）」の0～4歳データをもとに算出

公立高校（全日制課程）学科一覧

資料 7-1

(平成21年4月入学)

	普通科	普通科系専門学科					職業学科								総合学科		
		理数科	音楽科	美術科	外国語科	文理科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	看護科	情報科	福祉科			
小豆島	普通																
土庄	普通																
三本松	普通	理数															
石田							生産経済				家政						
							園芸デザイン										
							農業土木										
志度								電子機械	商業								
								情報科学									
津田	普通																
三木						文理										総合	
高松	普通																
高松工業				美術				機械									
								電気									
								工業化学									
								建築									
								デザイン									
高松商業									商業								
									情報処理								
高松東	普通																
高松南	普通						環境科学				家政	看護					
高松西	普通																
高松北	普通																
香川中央	普通																
高松桜井	普通																
農業経営							農業生産										
							環境園芸										
							動物科学										
							食農科学										
坂出商業									商業				情報技術				
									情報処理								
坂出	普通		音楽														
坂出工業								機械									
								電気									
								化学工学									
								建築									
丸亀	普通																
飯山												看護				総合	
丸亀城西	普通																
善通寺第一	普通							デザイン									
琴平	普通																
多度津								機械		海洋技術							
								電気		海洋生産							
								土木									
								建築									
笠田							農産科学				家政						
							植物科学										
							食品科学										
高瀬	普通																
観音寺第一	普通	理数															
観音寺中央																総合	
三豊工業								機械									
								電気									
								電子									
学校数(県立)	18	2	1	1	1	1	4	6	3	1	3	2	1	0	3		
高松第一	普通		音楽														
学校数(公立)	19	2	2	1	1	1	4	6	3	1	3	2	1	0	3		

公立高校（定時制課程・通信制課程・専攻科）学科一覧

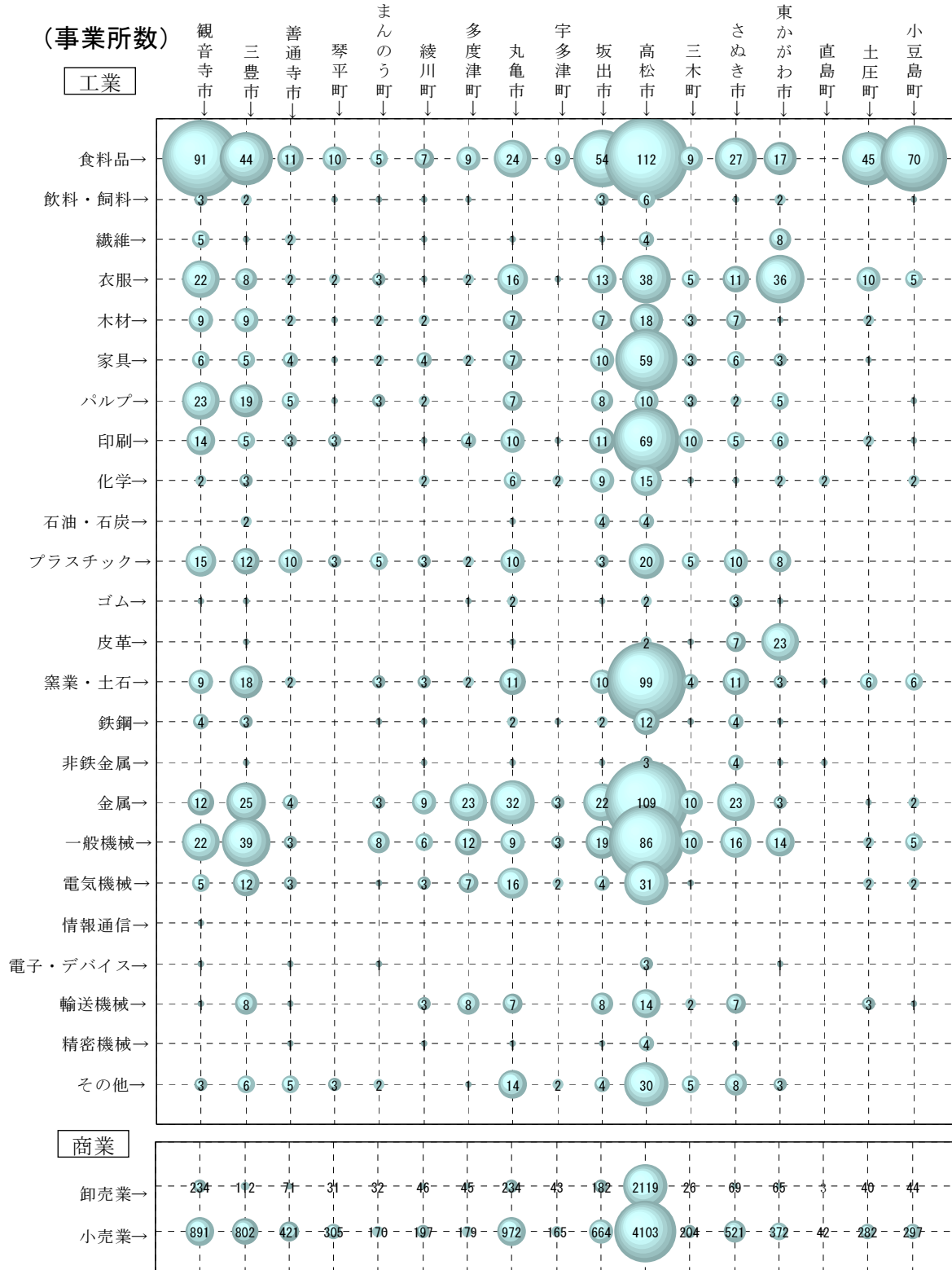
(平成21年4月入学)

	定時制			通信制	専攻科	
	普通科	工業科	商業科	普通科	水産科	看護科
小豆島	普通					
土庄	普通					
三本松	普通					
志度			商業			
三木	普通					
高松	普通			普通		
高松工芸		機械				
		建築				
		インテリア				
高松商業			商業			
高松南						看護
坂出工業		機械				
		電気				
丸亀	普通			普通		
飯山						看護
多度津		機械			漁業	
		電気			機関	
観音寺第一	普通					
学校数(県立)	7	3	2	2	1	2

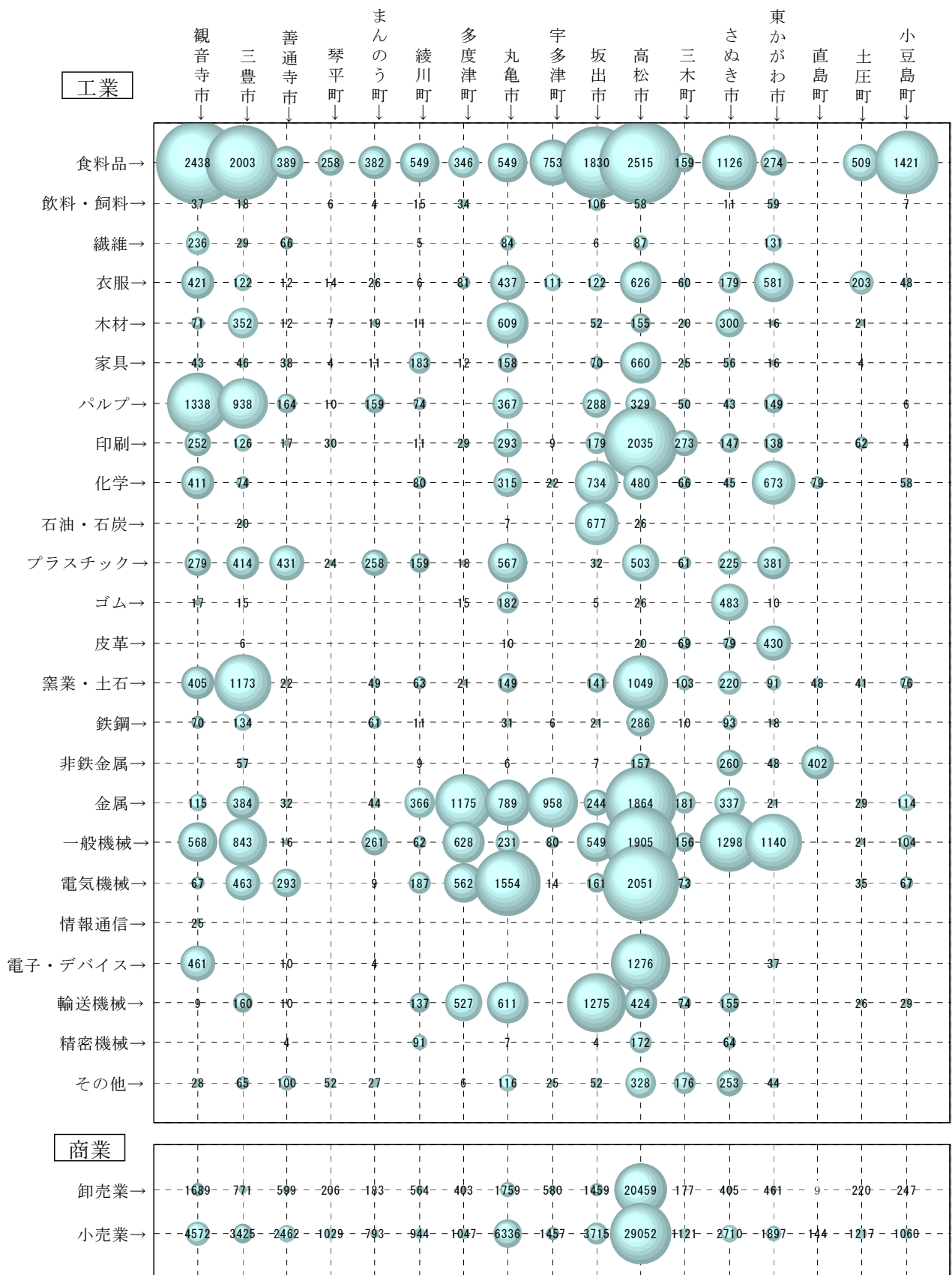
業種別・市町別の事業所数・従業者数の分布(平成19年)

【業種別に見た分布の多い市町】

- 「食料品」・・・高松市、観音寺市、小豆島2町をはじめ多くの市町に分布
- 「パルプ・紙」・・・観音寺市、三豊市 「家具」、「印刷」・・・高松市
- 「化学」・・・臨海部の市町 「石油・石炭」・・・坂出市
- 「プラスチック」・・・高松市・坂出市など多くの市町に分布
- 「皮革」・・・東かがわ市 「窯業・土石」・・・高松市、三豊市
- 「非鉄金属」・・・直島町
- 「金属」、「一般機械」、「電気機械」・・・高松市をはじめ多くの市町に分布
- 「電子部品」・・・高松市、観音寺市 「輸送機械」・・・坂出市、高松市、丸亀市

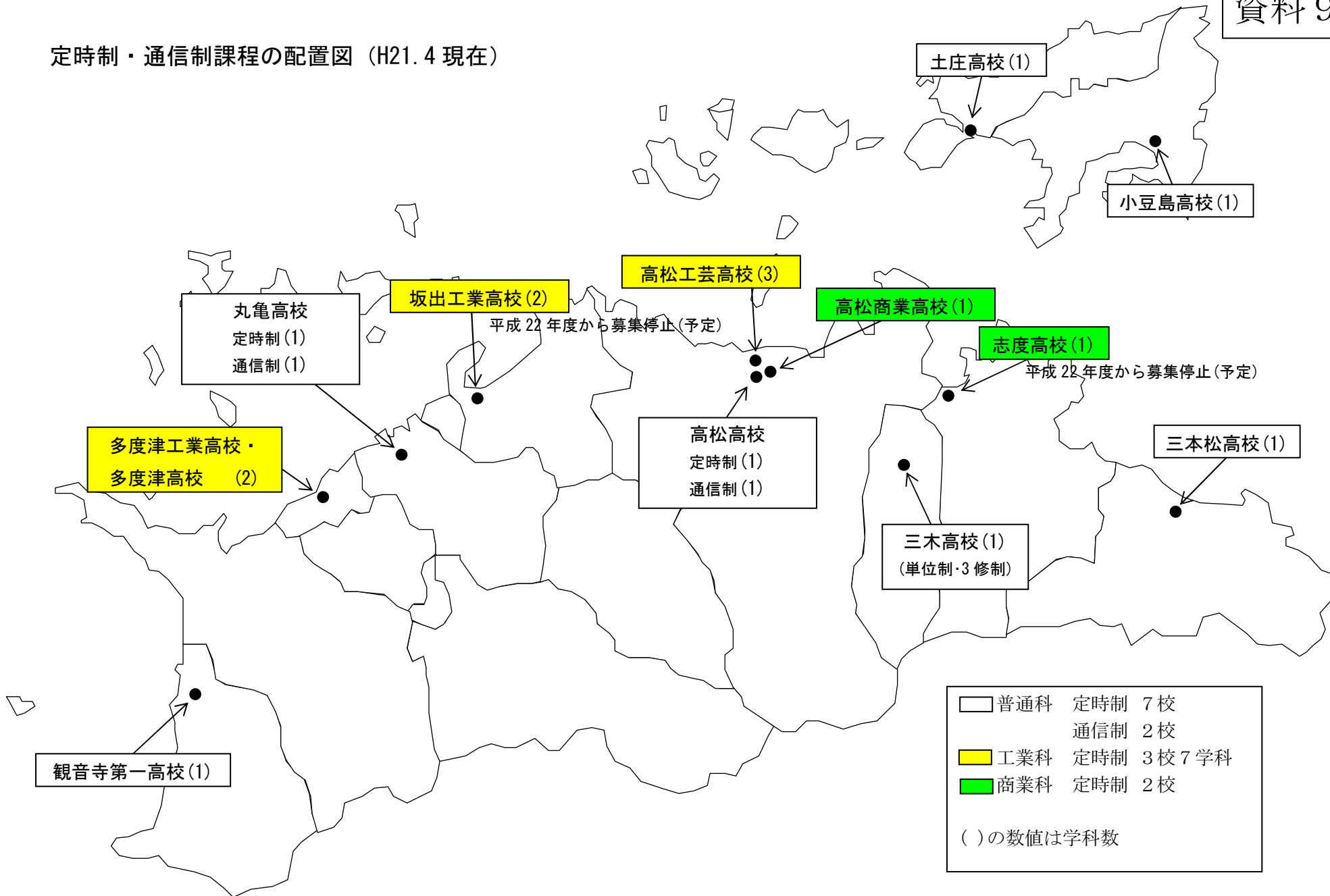


(従業者数)



資料) 経済産業省 工業統計調査、商業統計調査 (工業統計調査は従業者数4人以上の事業所)

定時制・通信制課程の配置図 (H21.4 現在)



土庄高校 (1)

小豆島高校 (1)

高松工芸高校 (3)

坂出工業高校 (2)

丸亀高校
定時制 (1)
通信制 (1)

高松商業高校 (1)

志度高校 (1)

多度津工業高校・
多度津高校 (2)

高松高校
定時制 (1)
通信制 (1)

三本松高校 (1)

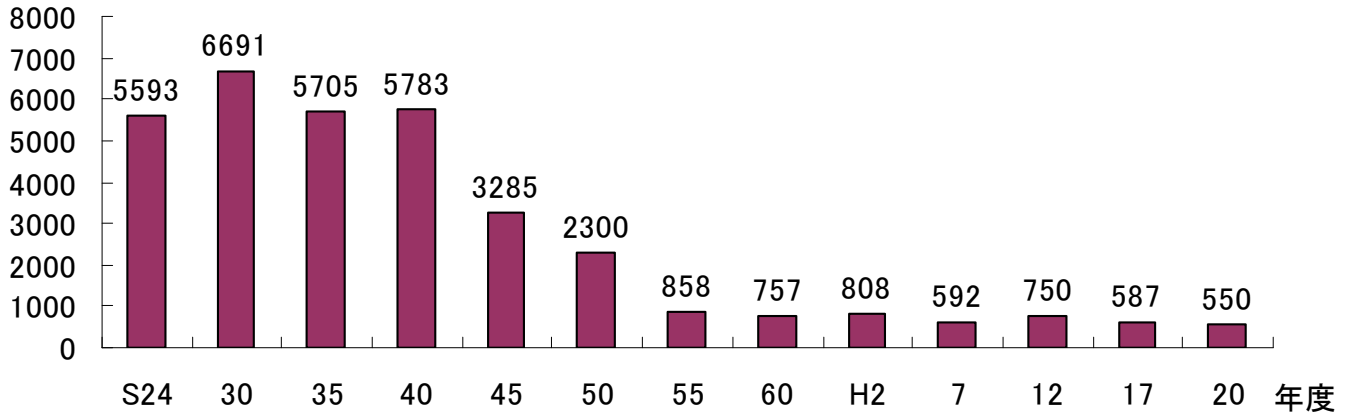
三木高校 (1)
(単位制・3 修制)

観音寺第一高校 (1)

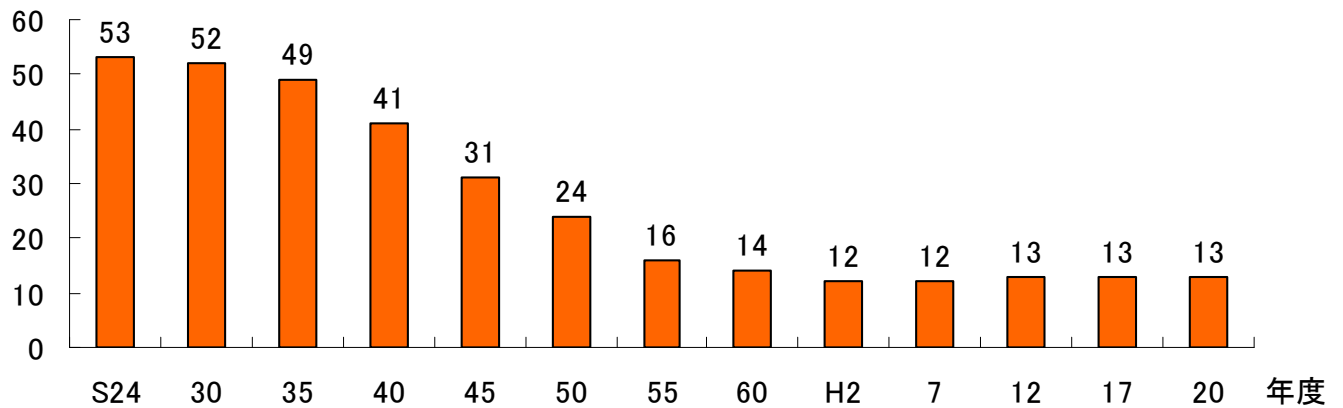
定時制・通信制課程の生徒数等の推移

定時制

生徒数(人)



学校数



通信制

生徒数(人)

